

美土里荘フェスティバル大盛況

はんの木だより

2019 年 10 月

第 75 号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176(62)2761

<http://midorikai-gr.or.jp>

施設を開放し地域交流図る

十月五日、毎年恒例の美土里荘フェスティバルが開催されました。メイン会場を特養南館、サブ会場を特養本館に設営。多くのお客様にお越しいただきました。盛田薫総合施設長の開会宣言からはじまり、来賓の小又勉町長、瀬川左一町議会議長よりごあいさ



つをいただいた後、今年もゲスト司会者に瀬川さとしさん迎え、軽快なトークでスタートしました。アトラクションのトップバッターは榎林こども園の園児による和太鼓演奏。迫力のなかに可愛らしさもある太鼓演奏に、皆さん目を細めて手拍子を送っていました。続いては、七戸高校卒業の美土里会職員と現役七戸高校生ボランティアによる『とらじよサンバ』を披露。若者の熱気に会場も大盛り上



がりでした。そして「ジュリ&カオリ」による、フルートとピアノ演奏。フルートのきれいな音色とピアノの軽快な音のコラボレーションに皆さん聞き入られ、目をつぶって聞くとそのまま眠ってしまいそうなほど癒されました。最後は三本木智子さんの歌謡ショーです。デビュー曲「あなたの恋桜」から昔懐かしい童謡まで、素晴らしい美声で会場を魅了しました。最後にこれもまた恒例の大抽選会。抽選番号が呼ばれるたびに落胆の声と喜びの声が会場に響いていました。今年の一等賞はデイスタービスのご利用者！炊飯器が当たり大喜びでした。おめでとうございます。外れた方はぜひ来年も挑戦しにいらしてください（笑）。今年度も、ボランティアの皆様はじめ、多方面からのご協力が無事に終えることができました。改めて御礼申し上げます。来年も趣向を凝らした企画を準備し皆さまをお待ちしております！



児童・生徒へのキャリア教育に力を入れています

今後の予定

- 十月二十八日、東奥学園高校実習生受け入れ
- 十月二十四日、おいらせ町立木ノ下小学校職業講話
- 十一月八日、七戸町立七戸中学校職業講話
- 十二月十一日、野辺地西高等学校福祉出前講座

その他、今年は七戸高等学校からの実習生受け入れを行いました。たほか、七戸養護学校から職業体験受け入れも予定しています。



美土里会

小学校で職業講話行う

六月二十八日、キャリア教育の一環として、七戸町立城南小学校で職業講話を行いました。地域・社会貢献の一環として、青森県教育支援プラットフォーム上十三支部と連携して行っています。この日は盛田施設統括監が介護についての基本的な考え方と、車イスの介助方法を通じた思いやりの心について講義。一コマ三十分という短い時間でしたが、児童の皆さんは真剣に聞いてくれました。後日手紙が送られて来た手紙には「思いやる気持ち、差別しない心、相手の立場になって考えることが大事なんだと分かりました」「学んだことを普段の生活でも心がけたいと思います」「将来の夢が決まっています」「介護福祉士は格好良いと思いました」という感想が書かれており、とても嬉しく感じました。これからも地域の子どものため、未来の介護の担い手たちのためになる事は協力して行きたいと思っています。

美土里会の四季の食材

クリ



グループホームの横の森には、栗の木があります。この時期は、外の掃除をしながら栗拾いをします。拾った栗をグツグツゆでて…栗ご飯の完成！みんなで美味しく頂きました。

事業所通信

デイサービスセンター様



毎日ご利用者が楽しみにされている午後のレクリエーション。人気のレクの一つに、物送りゲームがあります。物送りゲームは、二組に分かれて衣類などをどんだ隣の人に渡していき、全ての物を最後の人まで送ったチームが勝利というゲームです。見どころは何といっても、利用者の変装です。職員も手伝いながら、流れて来る服を順番に着ていきます。変装が完成するとご利用者の皆さんは大笑い！ばっちりポーズも決めていただきました。

毎日ご利用者が楽しみにされている午後のレクリエーション。人気のレクの一つに、物送りゲームがあります。物送りゲームは、二組に分かれて衣類などをどんだ隣の人に渡していき、全ての物を最後の人まで送ったチームが勝利というゲームです。見どころは何といっても、利用者の変装です。職員も手伝いながら、流れて来る服を順番に着ていきます。変装が完成するとご利用者の皆さんは大笑い！ばっちりポーズも決めていただきました。

美土里荘フェスティバルに向けて、ご利用者が作品作りを行いました。今年はこちらで『令和』の文字を作成。当日はステージ看板の近くに置かれるとあって皆さん大張り切り！様々な色の折り紙を使い作品を作りました。リハビリも兼ね、全ての曜日のご利用者が協力し合って完成しました。出来上がった作品を見て「すごい！」「きれいだな」などの声も聞かれるなど、満足の出来でした。



今年もしちのへ秋まつりが盛大に開催され、ご利用者とともに見学に行きました。初日はあいにくの雨でしたが、見学した日は晴れ。地元七戸町の祭りということで、見学の前から皆さんわくわくした様子でした。山車運行が始まると「やっぱ良いね」「キレイだ」と大喜び！間近で祭りを堪能することが出来たご利用者の皆さんは、とても嬉しそうでした。



特別養護老人ホーム美土里荘



七月十八日、浅虫水族館に出かけました。おつ湾の海を再現したトンネル水槽では、間近に海水魚を見ることができ、色とりどりの魚にうっとり。イルカショー、アシカ、ペンギンの愛らしい動きを見て、にっこりと笑顔が見られていました。

七月二十四日、晴れた日に中庭でバーベキューを行いました。久しぶりの好天気、心地いい風が吹く中、焼き鳥、フランクフルト等を焼き、外で食べました。ノンアルコールビールを飲む方もいらっしやるなど、普段と違う昼食を楽しまれたようでした。



レクリエーション活動では紅葉の塗り絵をしました。皆さん赤・黄色・緑と色鮮やかに塗っていました。それをくりぬき、枝につけ廊下に飾りました。バックには富士山の紅葉の風景の写真を拡大し掲示しました。枝飾りや富士山の写真がこれからの秋の紅葉の季節をほうふつとさせ、見ている側も楽しむことができる創作活動となりました。



八月二十五日、東北町（旧上北町）の秋祭り見学に行きました。好天気に恵まれ、参加したご利用者は祭りばやしや、山車の迫力に歓声を上げていました。

一方、九月六日には七戸町の秋祭りを見学する予定でしたが、あいにくの雨で急遽イオンスーパーセンター十和田店に向かいました。ゲームコーナーでは見たことのない機械に戸惑いながらも次第に慣れてきて「これはどうするの？」と職員に聞いたり、実際に遊んで楽しんでいました。その後はサートイワンアイスを食べ、「美味しかったよ」とご満悦でした。



九月三日、南部町にあるパノラマ果夢園に、桃狩りに行きました。大きく実った桃に思わず手を伸ばし食べてみると、「とても甘い！」と皆さま競うように食べられていました。この後に昼食だということにも関わらず、二個をペロツと平らげる方も。お腹一杯に食べた後には皆で記念写真を撮りました（ちなみにその方はお昼のラーメンも完食されました！）。



九月十八日、敬老会が行われました。白寿の方はじめ敬老の表彰を行い、明照保育園の園児による可愛い踊り、長寿を祝う職員の大黒舞などを楽しまれ、参加されたご利用者はご家族と一緒に笑って帰りました。その後は道の駅しちのへのお弁当や美土里荘の手作りけいらんに舌つづみ。笑顔の絶えない一日となりました。

グループホーム様



九月四日に桃狩り、二十六日にぶどう狩りに出掛けてきました。どちらも天候に恵まれ青空の下完熟した果物を、心ゆくまでお腹いっぱい食べてきました。

九月二十一日にはグループホーム敬老会が行われました。卒寿・喜寿を迎えられた方への表彰式、そして全利用者の方へ記念品の贈呈式を行いました。職員の余興では、『いさばのかっちゃん』が登壇し会場内は大爆笑。最後にはいまだ大人数の『りんごちゃん』（自称ですが）もゲストで登場し会場を大いに沸かせていました。

参加されたご家族と共に、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。来年の敬老会も、皆さんで元気に迎えましょうね。

編集後記

何とかメ切に間に合うように完成しました。夏から秋にかけてはイベントも多く、はんの木だよりの記事作りは困らないのですが、冬が近づくと外出や行事の機会も減って行き：ネタ集めに苦労するだろうな、と今から頭が痛いです。しかし、屋内でもご利用者に楽しみをもっていただけよう、ない知恵を絞って考えて行きます。（一）